

聲 明 書

我國幼稚園創立以來既に五十年、其の間一般教育の進展に伴ひ次第に幼稚園教育の發達を促し去る四月二十一日新に幼稚園令の發布を見たるは實に慶すべきである。しかし他の教育系統に比し幼稚園教育の不振は争はれない事實であると共に近來幼兒教育の發達と兒童保護の實相に鑑みて吾人は到底現狀に満足する事が出来ない。抑も幼稚園教育の本義たる幼兒の生活を尊重し其の伸展充實を期するの要は今や世界的の聲であつて我國に於ても社會の實際は都市は勿論農村に到る迄益々幼稚園の設立を要望して止まず加ふるに幼稚園はたゞに上流社會の專有物ではなく一般の社會生活上必須なる位置を占めつゝあるのである。這般當局の幼稚園令を制定せらるゝや特に此の點に多大の注意を拂ひ幼稚園の普及發達を獎勵せられたのは實に時宜に適したるものである。この機に際し吾人は一大覺悟を以て幼兒の教育に當り大に其の充實改善を期するは勿論なりと雖も又一般官民が奮つて幼兒教育の重要なるを理解し更に其の普及發達に努力を惜まざらん事を切望してやまないものである。

大正十五年六月

幼稚園令
發布記念

全國幼稚園大會